



# ちばりは ニュース

2023年8月 発行 第53号

千葉県千葉リハビリテーションセンターの理念と基本方針

## 理念

「誰もが街で暮らすために」

Everybody will be in own town

— 私たちは障害児・者の自立と社会参加に向けて良質な医療と福祉を提供します—

## 基本方針

- 利用者の意思と個性を尊重し、専門職の協働による包括的リハビリテーションを実践します。
- 日々の研鑽により自らの人間性と専門性の向上を図り、安全で質の高いサービスを約束します。
- 地域の各機関との連携を図り支援し、また研究・開発や専門職育成に努めます。



〒266-0005

千葉市緑区誉田町 1-45-2

TEL 043-291-1831 FAX 043-291-1857

ホームページアドレス

<http://www.chiba-reha.jp/>



## 千葉ジェッツふなばし ミニゴールセット寄贈式



千葉ジェッツふなばし・原修太（はらしゅうた）選手のプロジェクト「病院・クリニックへのミニゴールセット寄贈プロジェクト」で当センターにミニゴールセットが寄贈されました。

6/26（月）に大ホールで寄贈式が行われ、千葉ジェッツふなばしの非公認キャラクター、マスク・オッチーが来所してくださりました。寄贈式が行われた後、寄贈いただいたミニゴールセットを使ってシュートするなど、利用者との交流や記念撮影を行いました。



### 《原修太選手からのメッセージ》

皆さん、こんにちは。千葉ジェッツ背番号31番原修太です。

今回、病院クリニックへのミニゴール寄贈プロジェクトの寄贈を受けていただき本当にありがとうございます。ミニゴールができましたのでお届けします！ぜひ病院内の皆さんで使って楽しんでください！

今後とも「ハラの輪」の応援をよろしくお願いします！

～笑顔の輪が広がりますように～



## 障害者支援施設 更生園 (こうせいえん)

## についてご紹介します

総合リハビリテーションセンターにおいて、医学的リハから「地域社会への参加や就労につなぐ」ため、社会リハビリテーションを実施しています。障害のある方が地域社会において QOL の高い自立した生活をするために、身体障害や高次脳機能障害の方を対象として、さまざまなプログラムや支援を行っています。

「健康管理や再発予防」「時間やスケジュールの管理」「体力や持久力の向上」「家事動作や日常生活動作の獲得」「パソコンスキルや事務作業能力の向上」など、各利用者の目標を達成するため、個別の課題に応じたプログラムを提供しています。また、高次脳機能障害の方を対象としたパッケージプログラムを実施しています。

### ジョブトライコース

- ・協働作業によるコミュニケーションスキル向上
- ・高次脳についての障害認識を深める
- ・就労に対する意欲喚起、イメージの構築

### スキルアップコース

- ・さまざまな活動を通して、できること、できないことの体験的気づきを深める
- ・グループメンバーとの協働作業ができる

### 外出訓練



各利用者の居住地域や通勤先等に合わせて、自立できるまで繰り返して行います。雨天や通勤ラッシュにも対応できるように、多様な場面を想定して行います。健康維持・増進のための運動習慣の構築を重視しており、退園後も運動量を把握し、モチベーションを維持できるようにします。

### 作業療法



生活から就労まで地域で自立した生活を送るための支援を行います。生活・家事動作など、麻痺があっても自分でできる工夫について体験しながら、地域で生活するための自信をつけます。軽作業などグループ活動やコミュニケーションを通して、強みを知るとともに、障がい理解、代償手段の獲得も目指しています。

### ST

主に失語症、記憶障害を中心に高次脳機能障害のある方々を支援しています。目標として共有していることは障害理解と自立のための代償手段の獲得です。具体的な支援内容は、機能評価、グループ訓練、外出訓練、また外来の個別訓練を希望する方には、相談後に千葉リハビリテーションセンターで訓練を実施しています。他職種との直接的な連携に力を入れ、園内の生活や今後の支援の方向性を常に意識しています。

### 心理

グループ訓練や面談、高次脳評価等を通して、高次脳機能障害のある方への支援をしています。グループ訓練では「就労に必要な対処能力を養おう」という目標のもと、協働作業体験（事務作業やミーティング）を通して、①自分の得意・不得意を知る ②就労に向けて何を準備するべきか、具体的なイメージを作る ③苦手な部分を補うための対策を考える といったテーマに取り組んでいます。また、実践的なタスク管理の練習も行なっています。

### 社会生活力プログラム

障害のある方が自分の障害を理解し、自分に自信をもち、必要なサービスを活用して、自らの人生を主体的に生き、社会参加していく力、権利を行使していく力「社会生活力」を高めるため、「自分の障害を理解する」「福祉制度を知る・活用する」「生活・社会参加のイメージをつける」ことを主な目的に、グループワークを行っています。イベント・外出活動の計画→実行→振り返りも行います（近年コロナ対策で減少していましたが、今年度より再開しています）。



### その他作業系のプログラム

地域新聞の折込み



洗車清掃作業

更生園では、自立訓練（機能訓練・生活訓練）、就労移行支援、就労定着支援の各サービスを行っています。加えて、施設入所支援サービスを提供しており、夜間や土日においても、生活面や健康面の支援、必要な相談支援等、24時間の切れ目のない支援が可能となっています。

利用者の生活をトータルで支え、利用者自身が自らの力を発揮し自立を目指すため、ADL や IADL を定期的に評価、個別支援ではアセスメントを行い、必要な支援を計画し、実践・経験できる機会を設けています。またご家族へ更生園での生活状況を情報提供、共有し、生活支援に活かせるよう、ご要望・ご意見に耳を傾け、スタッフ間で情報共有しています。健康管理では、毎日のバイタル測定を利用者自身で行い、服薬管理や感染対策等、入園中に健康意識を高められるよう、看護師と健康状態の把握、服薬確認、再発予防等、退園後も継続できるように、習慣付けを心がけています。

毎日バイタル測定を実施、体調面の変化に気づき、相談やセルフケアができるようにします。服薬は段階的に自己管理を目指し、再発予防の意識付けを行います。



毎月「更生園防災の日」を実施、車いすを階段で運ぶ方法を学びました。安全安心な生活環境を維持できるように、防災・環境ラウンドを実施しています。



生活面の支援計画を立てまずは身の回りのケアが自立できるように支援します。基本的な生活の自己管理は、一人暮らしや就労するための土台となります。



年2回、家族交流会を実施。ご家族だから共感して相談できる機会を設けています。定期的に、ご本人ご家族を交えての支援会議を開催しています。

## 就労移行支援（職業リハビリ）

2年間の利用期間で一般就労・復職を目指します。障害の特徴や強みと弱みを把握し、段階的に複雑な訓練課題をクリアできるように支援します。「新しい自分に合った働く力を身につけること」が必要です。企業見学や実習を行い、職場との調整（職務内容・労働条件・合理的配慮等）、就労に向けた支援を行います。



就労支援員、職業指導員、生活支援員、作業療法士、言語聴覚士、理学療法士、心理師を配置しています。



更生園の就労移行支援を利用して、一般就労している方です。6か月間のフォローアップ期間後は就労定着支援事業により、安定して働くことができるように、3年間の支援を継続します。

令和4年4月～令和5年6月まで  
利用終了者14名のうち

新規就労9名

復職3名

就労継続A・B 2名

### ご相談窓口



ご利用希望のある方、更生園のサービスについて知りたい方、その他ご質問のある方は、まずはお電話でお問い合わせ下さい。障害福祉サービスに精通した相談員が分かりやすくご案内させていただきます。見学についても随時受け付けております。来園が難しい場合は、当方から訪問して、ご説明させていただきます。

[お問合せ先]  
043-291-1831  
(代表電話になりますので  
更生園とお申し付け下さい)

「更生園 紹介動画」  
を公開しています  
<https://youtu.be/4DAPS-MvPqQ>



## 【開催報告】 全国地域リハビリテーション合同研修大会 in ちば 2023

6月17日(土)～18日(日)に、全国地域リハビリテーション合同研修大会 in ちば 2023 を、「ヤバいぜ! 地域リハ～継続と発展～」というテーマのもと、幕張メッセ国際会議場で開催しました。菊地センター長が大会長を務め、運営には県内の広域支援センターの皆さまにご協力いただきました。



グループワークの様子  
“えんたくん®” を使用。



講師の久野研二先生  
海外からご講演いただきました。



ポスターセッションの様子⇒  
活発な意見・情報交換が行われました。



全国各地から地域リハ活動に携わる医療専門職や行政職にご参加いただき、延べ113名が集まりました。本研修大会では、「対話による発見や気づき」を通して学びを深められるプログラムを企画しました。調査・活動報告やシンポジウムに加えて、ポスター報告や計250分のグループワークを設け、地域リハに関して熱く議論し、その成果を参加者に持ち帰っていただきました。



運営に協力いただいた県内の広域支援センターの皆さんと。

教育講演では、国際協力機構(JICA)の久野研二先生より、WHOの地域社会に根ざしたリハビリテーション(Community Based Rehabilitation: CBR)の考え方や実践、障害の捉え方についてご講演いただきました。

参加者からは、対面だからこそ得られた気づきや発見・学びがあり、有意義な時間を過ごせたという感想を多くいただきました。(地域リハ推進部)

## 外部向け研修開催のご案内

※詳細は各QRコード・センターホームページ等からご確認ください。



研修会のご案内

### 「明日からできる頸髄損傷の作業療法」

**日時** 9/22(金) 18時半～19時半  
**方法** Zoomを使用したWeb配信となります  
**参加費** 無料 **申し込み期間** 9月18日(月)まで

予備では年間300名程度の方が頸髄損傷を受けられていると推定され、その多くは重症傷となっています。重症損傷者のリハビリテーションは特殊性が高く、介入に難渋している声が多く聞かれています。本研修会では重症損傷にあまり触れなかったことに対し、重症損傷者の作業療法を進めるうえでの基礎的な知識を伝達することを目的としています。お気楽にご参加ください。

**内容**  
・重症損傷者(不全型)の作業療法  
・千葉県作業療法データベースのご紹介

**主催** 千葉県千葉リハビリテーションセンター 脊髄リハセンター

問い合わせ先: 〒286-0007 千葉県千葉市緑区豊田町1丁目45番2  
メールアドレス: sakuken\_center@chiba-reha.jp  
センターホームページ: <https://www.chiba-reha.jp/>  
担当: 第二理学療法科 後藤・田村

### 明日からできる! 「小児リハビリテーションのキホン」研修会

**日時** 2023年9月29日(金) 18:30～20:00(終了予定)

**場所** Web(zoom)開催

**内容**  
**1. 講演**  
「重症心身障害のリハ」リハビリテーション～呼吸ケアを中心に～  
講師 千葉県千葉リハビリテーションセンター 理学療法士 小川 智美 須藤 沙織

**2. 情報交流会**

**主催** 千葉県千葉リハビリテーションセンター リハビリテーション治療局

**参加対象** 理学療法士 作業療法士 言語聴覚士 他

**参加費** 無料

**参加申し込み**  
以下からお申し込みください  
<https://tinyurl.com/2dyaqwn>

**9/22(金) 〆切**

問い合わせ先  
千葉県千葉リハビリテーションセンター  
担当: リハビリテーション治療局 杉山真由  
メール: kenshu-rehabu@chiba-reha.jp 電話: 043(291)1831(内線757)

### 小児リハビリテーションに必要な基本的技術講習会

千葉県千葉リハビリテーションセンター リハビリテーション治療局 主催

**研修内容**: 小児リハビリテーションの5つの技術を体験!

- ①小児の呼吸助手法
- ②重症心身障害児・者の姿勢ケア
- ③小児で使える支援機器の体験(視線入力、デジパッドなど)
- ④摂食支援方法(自助具など)
- ⑤子どもの「動く」を支援する方法(Baby loco、スパイダーなど)

※その他、名刺交換や企業展示の時間を設けます

**日時** 2023年11月26日(日) 9時20分から16時00分(終了予定) ※受付 9:00～

**開催場所** 千葉県千葉リハビリテーションセンター 2F大ホール、他

**対象** 理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、他

**参加費** 3,000円(当日現金にてお支払い)

**定員**: 50名

**参加申し込み** 11/10(金) 〆切

問い合わせ先  
千葉県千葉リハビリテーションセンター  
担当: リハビリテーション治療局 杉山真由  
メール: kenshu-rehabu@chiba-reha.jp 電話: 043(291)1831(内線757)

<https://tinyurl.com/29jhzow3>